



2024年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー
代 表 者 名 代表取締役 法務・経理統括 中川 美恵子
(コード番号 3776 東証スタンダード市場)
(TEL. 03 - 5202- 4800代)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2024年11月29日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について当社の現状を分析し、改善に向けた今後の取り組み方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。

記

1. 現状認識と評価

当社のPBRは、直近では、1.3~1.5倍を推移しております。一方で、ROEは2023年12月末時点で1.2%の低位であり、これは近年の事業構造の変動による業績の変動が要因であると認識しており、株式市場の期待に応えるべく、収益力向上とROEの改善を重要課題と考えております。加えて、株主資本コストは7~8%を推移しており、ROEが株主資本コストを下回ることからこの件についても課題であると考えております。今後、ROEの改善のためには、成長戦略の明確化に加えて、収益力を向上させる取り組みが重要であると認識しております。

2. 改善に向けた方針

当社は、社内における予測をもとに、収益力を向上させる事業の取り組みに注力してまいります。今後3年間において、直近の2024年12月期のROEの予測は4%ではありますが、2025年12月期から2027年12月期ROEの目標値は8%達成を目標と設定し、これに取り組むとともに併せてIR活動を強化してまいります。

以 上



株式会社ブロードバンドタワー (証券コード：3776)

資本コストや株価を
意識した経営の実現に向けた対応について
2024年11月29日

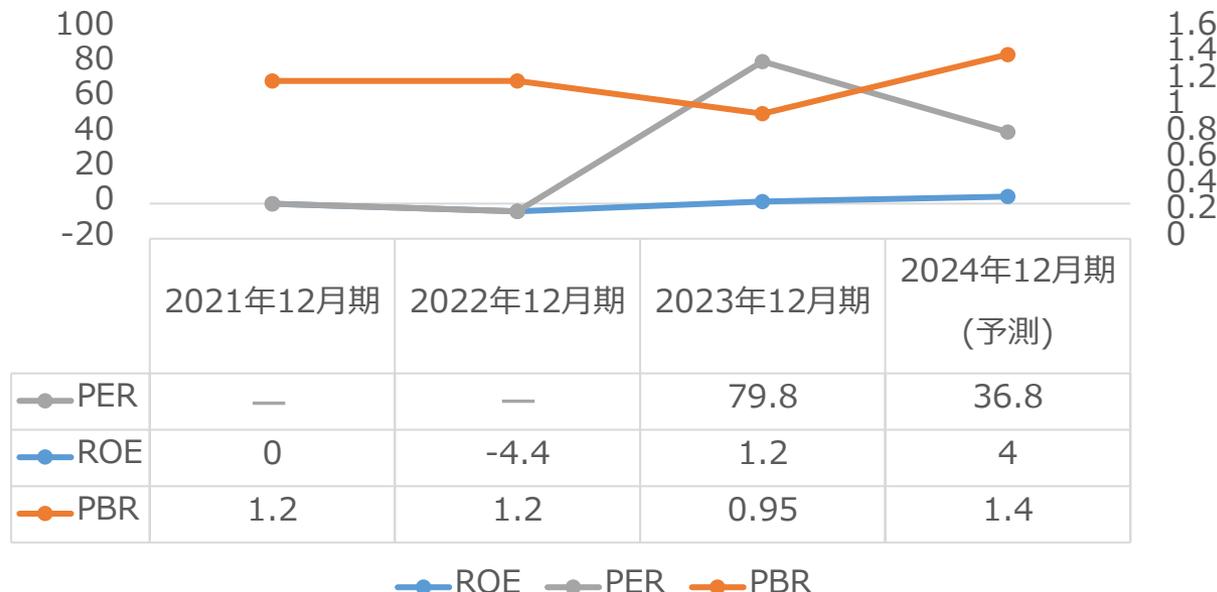
現状分析

PBR(倍)	ROE(%)	PER(倍)
0.95倍	1.2%	79.8倍

ROE(%)	株主資本コスト
1.2%	7.7%

ROIC	WACC
-0.5%	7.89%

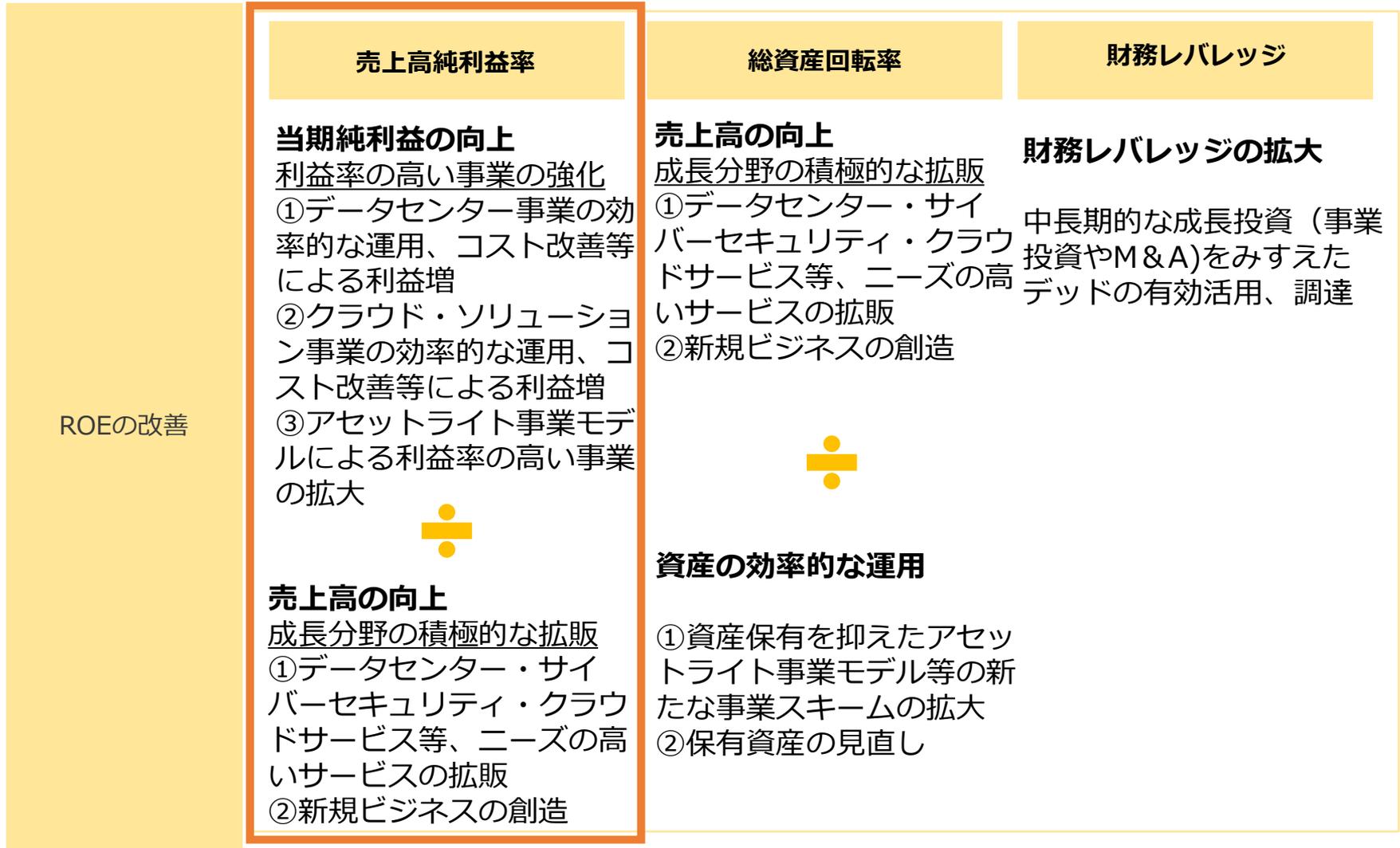
※2023年12月末時点



現状認識や評価

直近の当社PBRは、1.3~1.5倍を推移している。一方で、近年のデータセンターのサービス群の過渡期や外部環境によるコスト増等の変動の影響により、業績が変動し、それが主な要因として2023年12月時点の当社ROEは1.2%と低位にあった。

取組・施策：2025年12月期から2027年12月期ROE、8%達成を目標



取組・施策：株主資本コストの低減

株主資本コストの低減

IR開示の充実

企業価値向上に関わる情報開示・拡充

サステナビリティ等非財務的な視点に加え、社内における今後の3年間の業績予測を通じて成長性、収益性、将来の見通しを投資家や株式市場への適切な説明や発信をおこなうことによる株価の変動幅抑制。

業績、特に安定的な利益の維持

安定的な利益の維持による業績のサプライズを抑制

近年、当社は過渡期にあり、事業の構造改革に取り組んだことで当社の業績は低迷状況にあった。今後は、安定的な利益の維持により、業績の変動や低迷による株価の変動幅を抑制

機関投資家との創造的な対話

対話による当社への適正なご評価及びフィードバックを戦略的に反映し、合理的な株価形成を通じて株価の変動幅を抑制。



5G Innovations

(ご注意事項)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社グループとしてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により差異が生じる可能性があります。